

**「ワーキングウーマン・パワーアップ会議
～仕事意欲に燃える女性と企業を応援する民間運動～
の発足について**

仕事意欲に燃える女性と企業を応援し、性別ではなく個々人の意欲や能力に応じて処遇を行う、実効性のある仕組み作りを目指して、「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」(代表幹事：岩田喜美枝・資生堂副社長、岡本直美・連合副会長/NHK労連議長、鹿嶋敬・実践女子大学教授、小林いずみ・メリルリンチ日本証券社長)が発足した(事務局は(財)社会経済生産性本部が担当)。

少子高齢化、グローバル化が加速する中で、企業が持続的な成長を遂げるためには、女性の登用・活用・育成は不可欠であり、ワーク・ライフ・バランス推進の動きとあわせて、女性が従事する仕事の質や処遇の向上に取り組むことが求められる。

そこで、当会議では、女性の活躍推進を加速していくために、経営者や管理職の意識改革や、メンターによるサポートの促進のほか、女性の活躍を応援する人や企業によるネットワーク化を、既存ネットワークや経済団体、労働団体、大学機関などとの連携を図りながら展開する。その主な内容は以下のとおりである。

活動の重点目標

- (1) 経営者・管理職の意識改革と職場の風土改革の推進
意欲や能力がある女性への仕事領域の拡大や、公正な評価による昇進機会の提供について、特に男性の経営者・管理職への理解を促すと同時に、職場の風土改革を推進する。また、女性の経営者・管理職への計画的な登用や、女性コア人材育成への取組みを管理職の評価項目とするなど、育成の仕組みづくりを提案・支援する。
- (2) メンターによるサポートの促進
女性が仕事に責任を持ち、第一線で活躍するには、女性が働くことに理解を示し、相談に乗ったり見守ったりする人、メンターの存在が欠かせない。女性をコア人材として育成していくためにも、企業にメンターによるサポート体制構築の必要性を認識してもらい、女性の活躍を支援する基盤を作る。
- (3) 女性、及び女性の活躍を応援する人々によるネットワークの形成
仕事意欲をもち向上心ある女性や、女性の活躍を応援する企業と人をネットワーク化し、人的交流の場を提供して、経験・知識の交流を深め、女性活躍推進の流れを加速する。既存ネットワークや経済団体、労働団体、生産性機関、大学機関などとの連携による全国的なネットワーク作りも目指す。
- (4) 女性の能力を活かせる社会の実現
出産・育児・介護期などライフステージが変化しても、継続就業が可能な職場環境・風土づくりと社会システムの整備を目指す。正社員であっても柔軟に働ける仕組み作り、転勤やコース転換のあり方の再考、共働き文化の形成等に関し、メッセージを発信する。また、大学や学部への選択が就職に影響を与えることを考慮し、女子高校生に対して将来を見通した進路設計、経済的自立の必要性等を訴えていく。

**【お問合わせ先】 「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」事務局 担当：長谷川・有泉・西山
(財)社会経済生産性本部 社会労働部 内
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1
TEL: 03-3409-1122 FAX: 03-3409-1007**